

平成 30 年度  
広野町中学生海外教育交流派遣事業報告書

カナダ ブリティッシュコロンビア州

(ケロウナ・バンクーバー)

2018



広野町教育委員会学校教育課

# 目 次

- ◆ はじめに . . . . . 1
- ◆ 派遣団員名簿 . . . . . 2~3
- ◆ 派遣事業経過 . . . . . 4
- ◆ 派遣事業行程表 . . . . . 5~7
- ◆ 事前研修会 . . . . . 8~9
- ◆ 結団式 . . . . . 10
- ◆ カナダ研修報告 . . . . . 11~25
- ◆ 事後研修会 . . . . . 26~27
- ◆ 国際フォーラム . . . . . 28~31
- ◆ 今後の海外交流派遣に向けた課題 . . . . . 32

## 平成 30 年度 広野町中学生海外教育交流派遣事業報告

はじめに

広野町の中学生海外教育交流派遣事業は、平成 9 年から平成 13 年に実施され、その後国際情勢等による中断を経て、平成 26 年に再開してから 5 回目となりました。外国の文化、歴史、生活、風土等に接することで、外国の人々との相互理解と国際協調の精神を養い、国際的感覚豊かな人材の育成を目的に実施されており、このような教育事業を継続している市町村は他に例を見ません。毎年の積み重ねにより、豊かな経験を持つ人材が増え、将来の町づくりに多大な貢献をしてくれることが期待されます。

本年度は中学 2 年生と引率者併せて 29 名を、8 月 16 日から 8 月 23 日までの 6 泊 8 日間、カナダに派遣していただきました。カナダは治安が良く、大自然が美しい国であり、滞在したケロウナ市はロッキー山脈やオカナガン湖に囲まれながらも、BC 州 3 番目に人口が多い地方都市です。また、現地で出会った人々はみな、穏やかで温かさを感じ、安心して研修をすすめることができました。

ホームステイでのホストファミリーとの生活や、異文化コミュニケーション活動で共に過ごした同世代のカナディアンバディとの交流では、英語が通じた喜びだけでなく、うまく伝わらないもどかしさもありました。それらは現地でしか味わうことができない実体験であり、子どもたちのその後の学習意欲を高めることにつながります。また、日本から移住し農業を営むオギファームへの訪問や、JTBバンクーバー支店に駐在し働く若い日本人社員との懇談を通して、グローバルな視点で人生や職業について深く考える機会にもなりました。様々な人々との出会いにより、友情や家族の温かさなど、国や人種を超えて、普遍的な人と人とのつながりを感じることもできたと思います。

帰国後は、事後研修で学んだことや感じ取ったことを振り返ってまとめ、「国際フォーラム」という場で、堂々と発表することができました。事前研修も行っていますが、その子どもたちの変容から、今回の研修でたくさんを学び、成長した姿を多くの方々から認めていただきました。

このような貴重な学びの場を与えていただいたことに、広野町を始め、ご協力いただいた関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。広野町の子どもたちがこれからのグローバル社会を生き抜き、豊かな人生を送るためにも、この事業が今後も長く継続することを願っています。

広野町中学生海外教育交流派遣事業  
団 長 高瀬 永志

# 派遣団員名簿

男子 17 名・女子 7 名：合計 24 名

No.	所属	生徒氏名	ふりがな	性別	備考
1	広野中 2 年	大越 理夏	おおこし りか	女	
2	広野中 2 年	大和田 朝斗	おおわだ あさと	男	
3	広野中 2 年	大和田 蒼空	おおわだ そら	女	
4	広野中 2 年	貝沼 秀基	かいぬま よしき	男	
5	広野中 2 年	菊地 日奈太	きくち ひなた	男	
6	広野中 2 年	日下 拓海	くさか たくみ	男	
7	広野中 2 年	倉田 祐志	くらた ゆうじ	男	
8	広野中 2 年	小林 雄翔	こばやし ゆうま	男	
9	広野中 2 年	坂本 滉多	さかもと こうた	男	
10	広野中 2 年	坂本 翔	さかもと しょう	男	
11	広野中 2 年	坂本 冬威	さかもと とうい	男	
12	広野中 2 年	佐藤 真菜	さとう まな	女	
13	広野中 2 年	鈴木 一真	すずき かずま	男	
14	広野中 2 年	鈴木 花萌	すずき かほう	女	
15	広野中 2 年	園部 寛太	そのべ かんた	男	
16	広野中 2 年	根本 侑弥	ねもと ゆうや	男	
17	広野中 2 年	根本 龍哉	ねもと りゅうや	男	
18	広野中 2 年	水野 真吾	みずの しんご	男	
19	広野中 2 年	馬上 海音	もうえ かいと	男	
20	広野中 2 年	八巻 希美	やまき のぞみ	女	
21	広野中 2 年	吉田 圭佑	よしだ けいすけ	男	
22	広野中 2 年	吉田 明永	よしだ はるなが	男	
23	広野中 2 年	吉田 百華	よしだ ももか	女	
24	広野中 2 年	吉田 有希	よしだ ゆき	女	

## 役員名簿

中学校職員 3 名・教育委員会事務局 2 名：合計 5 名

No.	所属	氏名	ふりがな	性別	備考
1	広野中校長	高瀬 永志	たかせ ひさし	男	団長
2	広野中教諭	村井 敬徳	むらい たかのり	男	
3	広野中教諭	堀内 幸也	ほりうち こうや	男	
4	事務局	鯨岡 圭介	くじらおか けいすけ	男	副団長
5	事務局	根本 環	ねもと たまき	女	

## 派遣事業一連の経過

月 日	曜日	内 容	参 加 者
8月3日	金	<b>【事前研修会】</b> 広野町公民館 2階大会議室 <input type="checkbox"/> 異文化理解ワークショップ 海外での研修を充実したものにするため、自分自身を相手に伝えるコミュニケーションの取り方について学び、考え、ワークショップを通じて実際に表現する力を身に付ける <input type="checkbox"/> 訪問先について学ぶ カナダと日本の文化・生活習慣の違いについて学習し、現地での生活への理解を持つ <input type="checkbox"/> 留学生との異文化交流 外国人留学生との交流を通じ、異国の地で学ぶ意味を考える	派遣中学生
8月8日	水	<b>【結団式】</b> 広野町役場会議室 <input type="checkbox"/> 任命書交付 <input type="checkbox"/> 激励の言葉 <input type="checkbox"/> 派遣者代表あいさつ ・引率者代表 団長 高瀬 永志 ・生徒代表 団員 吉田 明永	派遣中学生 派遣同行職員 保護者
8月16日   8月23日	木   木	<b>【海外派遣】</b> カナダ：ブリティッシュコロンビア州 ケロウナ・バンクーバー（6泊8日） <input type="checkbox"/> 出国 <input type="checkbox"/> 帰国	派遣中学生 派遣同行職員
10月8日	月	<b>【事後研修会】</b> 広野町公民館 2階大会議室 <input type="checkbox"/> カナダ研修の振り返り（グループワーク） <input type="checkbox"/> 報告会に向けた資料の作成 <input type="checkbox"/> 報告会に向けた発表の練習	派遣中学生
10月14日	日	<b>【広野町中学生海外研修報告会】</b> 国際フォーラム <input type="checkbox"/> プログラム説明 <input type="checkbox"/> グループ発表（4グループ） <input type="checkbox"/> 講評	派遣中学生

# 行 程 表

派遣先：カナダ ブリティッシュコロンビア州 ケロウナ・バンクーバー

派遣期間：平成30年8月16日（木）～8月23日（木） 8日間

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	行 程	食事
1	8/16 (木)	広野町発	15:00	貸切バス	貸切バスで羽田空港へ	夕：○機内  朝：○機内 昼：○機内  夕：各自
		羽田空港着	19:30		途中 SA を経由し、空港へ	
		羽田空港発	21:50	NH0116	羽田空港到着後、出国手続き	
		バンクーバー空港着	14:45		空路、バンクーバーへ	
		バンクーバー空港発	16:30		バンクーバー空港到着、入国手続き	
		バンクーバー	17:30		荷物受取後、バス移動にて市内へ スーパーマーケットで夕食の買い出し 終了後、ホテルへ ホテル到着	
					〈ホテル泊〉	
2	8/17 (金)	バンクーバー	6:30		ホテルを出発し、バンクーバー空港へ	朝：○ ランチボックス    昼：○ (ランチビュッフェ)    夕：○ ホストファミリー
		バンクーバー空港着	7:00		バンクーバー空港到着後、チェックイン手続き	
		バンクーバー空港発	9:25	AC8398	空路、ケロウナへ	
		ケロウナ空港着	10:22		ケロウナ空港到着後、荷物受取	
		ケロウナ空港発	11:00	専用車	現地スタッフのお出迎え後、バスにて会場へ	
		ケロウナ	11:30		<u>□オリエンテーション</u> 滞在中の注意点や、ケロウナの歴史・文化・風土 気候などを学ぶ オリエンテーション終了後、昼食	
			午後		<u>□STEP1 異文化コミュニケーション①</u> ～カナダで移民として暮らす日本人から学ぶ～ ケロウナにて農園を経営する荻夫婦を訪ね、 移民としてひたむきに切り拓いてきた暮らしについてお話を伺い、広大な農地で実際に農作業体験をおこなう 終了後、グループワーク(振り返り学習)	
			夕刻	ホストファミリー 送迎	ホストファミリーと対面 各家庭へ	
					〈ホームステイ泊〉	

3	8/18 (土)	ケロウナ	午前	ホストファミリー 送迎	<input type="checkbox"/> STEP2 <u>異文化コミュニケーション②</u> ～カナディアンバディとの交流から学ぶ①～ ファーマーズマーケットで、カナディアンバディと スキャンベンジャーハント・フォトレジャーハント バディと一緒に各自ランチ	朝：○ ホストファミリー
			午後	専用車  ホストファミリー 送迎		バディと一緒に街歩き・博物館見学 グループワーク(振り返り学習) 各家庭へ <ホームステイ泊>
4	8/19 (日)	ケロウナ	終日		ホストファミリーと終日一緒に過ごす   <ホームステイ泊>	朝：○ ホストファミリー  昼：○ ホストファミリー  夕：○ ホストファミリー
5	8/20 (月)	ケロウナ	午前	ホストファミリー 送迎	<input type="checkbox"/> STEP3 <u>異文化コミュニケーション③</u> ～カナディアンバディとの交流から学ぶ②～ カナディアンバディと昼食まで一緒に過ごす クラフト体験やゲームを盛り込んだESL授業を体験  昼食：ホストファミリーのランチボックス	朝○ ホストファミリー  昼○ ホストファミリー
			午後			
			夕刻	ホストファミリー 送迎	<input type="checkbox"/> Farewell Party ホストとバディを招待してお別れ会を開催  <ホームステイ泊>	夕：○ ホストファミリー



6	8/21 (火)	ケロウナ	11:30	ホストファミリー 送迎	ケロウナ空港に集合 ホストファミリーとお別れをし、チェックイン 空港にて各自で昼食	朝:○ ホストファミリー
		ケロウナ空港発	12:35	AC8415	空路バンクーバーへ	昼:×各自
		バンクーバー空港着	13:31		バンクーバー空港到着後、荷物受取	
		バンクーバー空港発	14:00	専用車	バス移動にてバンクーバー市内へ	
		バンクーバー	14:15		<u>□日本企業を訪問(JTBバンクーバー支店)</u> 職場見学後、プレゼンテーションを実施	
			16:15	専用車	バンクーバー市内を車窓観光 聖火台・ハーバーセンター	
			17:30 18:30 19:30		中華レストランにて夕食 展望台見学 ホテル到着	タ:○ レストラン
〈バンクーバー泊〉						
7	8/22 (水)	バンクーバー	10:00	専用車	朝食&荷物整理後、チェックアウト バンクーバー市内観光	朝:○ ホテル
			10:30		・スタンレーパーク見学(トーマスポール像など) ・リッチモンドセンターにて昼食・買い物 終了後、バンクーバー空港へ移動	昼:×各自
		バンクーバー空港着	13:15		到着後、出国手続き	
		バンクーバー空港発	16:15	NH0115	空路、羽田へ	タ:○機内
〈機内泊〉						
8	8/23 (木)	羽田空港着	18:20	貸切バス	羽田空港到着後、入国手続き	朝:○機内
		羽田空港発	19:30		貸切バスで途中SAを經由し広野町へ	昼:○機内
		広野町到着	22:30		到着後、到着式 解散	タ:お弁当

## ■■■ 事前研修会 ■■■ ～コミュニケーション基礎力と異文化理解～

【日時】平成30年8月3日（金）

【場所】広野町公民館2階大会議室

【講師】JTB国際交流センター 及川 秀昭 氏

- 10:00 ホームステイワークショップ
- 12:00 昼 食
- 13:00 留学生のことを知ろう（自己紹介）
- 13:40 カナダについて知ろう
- 14:00 ウォーミングアップ
- 14:30 留学生との街歩き体験（留学生に広野町を紹介してみよう）
- 16:30 留学生との交流の感想・御礼

海外研修を実施するにあたり、現地カナダでの活動をより充実したものするため本事業に参加する広野中学校2学年24名を対象に事前研修会を開催しました。

生徒達はまず、カナダに行ったら何をしたいか意見を出し合い、それを実現するためには現地でどんなことに取り組めばよいか考えました。さらに講師より、日本と海外の文化・風土・言葉の捉え方の違いやホームステイをする上で注意しなければならないことについて講義を受けました。

午後は、都内の大学に在籍する留学生（アルゼンチン・カナダ・台湾・インド）4名を招き、各出身国の紹介や日本との違い、なぜ日本に留学生として来たのか、様々な観点からお話いただきました。その後、4つのグループに分かれ自己紹介や簡単なゲームを通じて留学生との交流を図りました。生徒達は、知っている単語やジェスチャー、絵などを使って積極的に交流を図っていました。



ホームステイワークショップ



ホームステイワークショップ



A グループ



B グループ



C グループ



D グループ



グループワーク



町歩き



留学生たちと記念写真

## ■■■■ 結団式 ■■■■

【日時】平成30年8月8日（水）16:00

【場所】広野町役場2階（201会議室）

- (1) 任命書交付
- (2) 引率者紹介
- (3) 激励の言葉
- (4) 派遣者代表あいさつ 団長 高瀬 永志  
团员 吉田 明永



8月8日（水）結団式が執り行われました。式では派遣団員24名と役員5名の任命書交付後、広野町長、広野町議会副議長より激励の言葉をいただきました。派遣団を代表し団長の高瀬永志中学校長、団員の吉田明永さんが研修に向けて抱負を述べました。

結団式終了後は、カナダブリティッシュコロンビア大学に通う池田レイさんから、海外での大学生活で苦勞したこと・行ってよかったことについてお話を聞きました。その後、最終説明会を実施し、渡航に関する書類の確認や手続きをおこない当日に備えました。



任命書交付



カナダについてお話をする池田レイさん



最終説明会

## ■■■ カナダ現地研修 ■■■

【事業の目的】次代を担う中学生を海外に派遣し、訪問国の文化、歴史、生活、教育、風土等に接することにより、諸外国に対する理解と国際協調の精神を養成し、広い視野を持つ青少年の育成を図る



【訪問先】カナダ ブリティッシュコロンビア州 ケロウナ及びバンクーバー

【派遣期間】平成30年8月16日（木）～8月23日（木） 6泊8日間

【派遣団】広野中学校2年生：24名（男子17名・女子7名）  
引率者：5名（中学校職員3名・学校教育課職員2名）

【研修の内容】異文化コミュニケーション（STEP①～④）

- ① オギファームでの農作業体験等
  - ② ファーマーズマーケットでの買い物ゲーム・博物館見
  - ③ ESL 授業体験
  - ④ グループディスカッション&プレゼンテーション
- フェアウェルパーティー  
□日本企業訪問から学ぶ



## 【1日目】 平成30年8月16日（木）

- 15:00 広野町中学校を出発
- 21:50 羽田空港出発
- ~~~~日付変更線~~~~
- 14:45 バンクーバー国際空港到着（入国手続き）
- 16:30 バンクーバー国際空港出発（バスにて市内へ）  
スーパーマーケットにて夕食の買い出し
- 17:30 ホテル到着



出発式



出国前（羽田空港にて）

カナダ派遣 1 日目、団員一行は広野中学校にて出発式を終えバスで羽田空港へ向かいました。日本からカナダ（バンクーバー）は約 9 時間の長旅になります。日付変更線を通り、現地時間 8 月 16 日（木）午後 3 時頃バンクーバー国際空港に到着しました。まずは夕飯の買い物をするため、中国系スーパーマーケット『八百伴（ヤオハン）』へ向かいました。バス車内では、現地ガイドさんから海外で生活する上での注意事項や、カナダでは挨拶を大切にすることがあり、ちょっとした会話でも「Thank you」と感謝の気持ちを伝える文化があるとお話を聞きました。その後スーパーマーケットに到着し、夕飯の買い出しをしました。海外で聞く英語に緊張ながらも、団員達は積極的に買い物に挑戦していました。

その後、宿泊先のホテルにチェックインし長い 1 日が終わりました。



バンクーバー国際空港到着直後



バンクーバー国際空港到着直後の様子



スーパーマーケットへ向かう途中



スーパーマーケットでの様子



スーパーマーケットでの様子



スーパーマーケットでの様子

## 【2日目】平成30年8月17日（金）

- 6:30 ホテル出発
- 9:25 バンクーバー国際空港出発
- 10:22 ケロウナ国際空港到着
- 11:00 研修会場へ移動  
オリエンテーション・昼食
- 13:30 『STEP1 異文化コミュニケーション①』  
(オギファームにて農作業体験)
- 15:30 振り返りとまとめ
- 16:15 ホストファミリーとの対面・各家庭へ



バンクーバー空港にて

搭乗手続き中



研修2日目はバンクーバーから国内線でケロウナへ向かいました。ケロウナはバンクーバーより東内陸部に位置しています。約1時間のフライトを終えケロウナ国際空港に到着しました。その後、研修会場にて現地スタッフから4日間ホームステイする上での注意事項の他、街の歴史・文化・風土・気候などを学びました。午後は、日本人が経営する農場『オギファーム』を訪問しました。農場では荻夫妻より、海外で農業を始めたきっかけや、仕事のやりがいについて話を聞いたり、ジャガイモ掘りなど農業体験をさせていただき日本とは違う気候の中で、作物を育て管理する大変さについて体験を通じて学びました。



国内線でケロウナに到着



研修会場に到着



オリエンテーションの様子



お世話になった現地スタッフ  
(マキコさん・サキさん)



昼食の様子

オギファームでの活動







農業体験（ニンジン収穫）



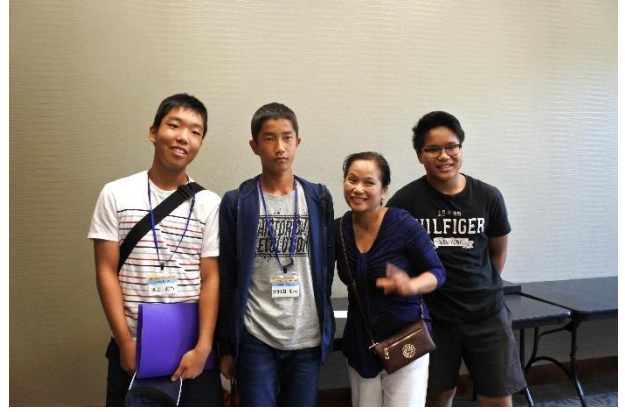
農業体験（ジャガイモ収穫）



『オギファーム』から戻り、1日のまとめ（グループワーク）おこなった後、いよいよホストファミリーとの対面です。二人または三人一組となりホームステイをします。団員達はとても緊張しながらも自己紹介をしていました。ケロウナではどんな体験が待っているのでしょうか。

ホストファミリーの方々との対面





### 【3日目】平成30年8月18日（土）

- 9:00 カナディアンバディと対面
- 9:30 ファーマーズマーケットにてスカベンジャーハント
- 11:00 ショッピングモールでの買い物・昼食
- 13:00 ケロウナ市ダンウタウン方面へ移動
- 13:30 BC 果樹農園博物館・ミリタリー博物館見学
- 15:30 振り返りとまとめ
- 16:30 ステイ先へ帰宅



現地では6グループで活動し、各グループに1名のバディ（現地活動をお手伝いしてくれる同世代スタッフ）が就きます。3日目はまず始めに、バディと初対面を果たしました。その後、地元で週に2回開催されているファーマーズマーケットにてグループ対抗『スカベンジャー・フォトトレジャーハント』（出題されたものを買ってきたり・写真を撮ってくるゲーム）をおこないました。お店の人との会話や、活気ある市場の雰囲気を感じバディと協力し、一番乗りを目指していました。地元グルメも満喫したようです。



午後も引き続きバディと一緒に活動しました。まずケロウナ市街地までバスで移動しました。スモッグの影響でケロウナの美しい景色を見ることができませんでしたが、二つの博物館を見学しました。『BC 果樹農園博物館』では、果樹園が多く点在するケロウナの農業の歴史・街の成り立ちについて学びました。次に『ミリタリー博物館』に行きました。この博物館ではケロウナから戦争に行った人々の歴史について学びました。各博物館には体験コーナーが設けられており、言葉が分からなくても同じ体験をすることでバディと共感しながら博物館見学を満喫しました。



## 【4日目】 平成30年8月19日（日）

終日 ホストファミリーと1日過ごす 自由行動

## 【5日目】 平成30年8月20日（月）

- 9:00 ESL 授業体験
- 12:00 昼食
- 13:00 プレゼンテーションに向けた資料づくり
- 15:30 フェアウェルパーティーの準備
- 16:00 フェアウェルパーティー開催
- 17:00 ステイ先へ帰宅



4日目も山火事によるスモッグの影響で、外での活動は困難と判断したため、マイラキャニオンでの活動を変更し、現地の学校の先生による ESL 授業（English as a Second Language 英語を母国語としない留学生向けのもの）を受講しました。授業では、海外版イス取りゲームや、ドリームキャッチャーの作成、グループ対抗でミニゲームをおこないバディとさらに親睦を深めました。ゲームは団員達もバディも熱のこもった勝負となり盛り上がりました。

午後は、ケロウナでの活動を通じて思ったこと・感じたことをグループごとに話し合い、プレゼンテーションをおこなうための資料づくりに取り掛かりました。短時間でのまとめ作業に苦戦しながらも、グループ内で分担し時間内にまとめることができました。

夕方、4日間お世話になったホストファミリーの方々とバディを招いて『フェアウェルパーティー』を開催しました。パーティーでは、団員代表で倉田祐志さんが英語でお礼の言葉を述べ、団員全員で『広野中学校校歌』を披露しました。その後、ホストファミリー、バディ、団員とで折り紙体験や、じゃんけん列車をおこない会場は一体感が生まれました。



ESL 授業の様子（ドリームキャッチャー作り）



バディとミニゲーム



海外版イス取りゲーム



グループワーク  
(プレゼン資料作り)



# Farewell Party



合唱披露



お礼の言葉



バディからのプレゼント

折り紙体験



じゃんけん列車





## 【6日目】 平成30年8月21日（火）

- 11:30 ケロウナ国際空港出発
- 12:35 バンクーバー国際空港到着
- 13:30 バスにて市内へ移動
- 14:15 日本企業「JTB バンクーバー支店」訪問
- 16:30 バンクーバー市内（ハーバーセンター・オリンピック聖火台）車窓観光
- 17:30 市内レストランにて夕食
- 18:30 展望台から夜景見学
- 19:30 ホテル着

### 職場見学

6日目は、4日間お世話になったホストファミリーや現地スタッフの方々に見送られながら、再び国内線にてバンクーバーへ戻ってきました。バンクーバーでは、日本企業「JTB バンクーバー支店」を訪問しました。職場見学のほか、現地で働く日本人スタッフ・現地スタッフの方々の前でケロウナでの活動から学んだこと・感じたことについて活動グループ毎にプレゼンテーションをおこないました。

その後、スタッフの方々を囲み座談会形式で海外で働く大変さや、仕事のやりがいについて話を伺いました。また、団員達も海外の生活で馴染めなかったことや嬉しかったことについて話していました。

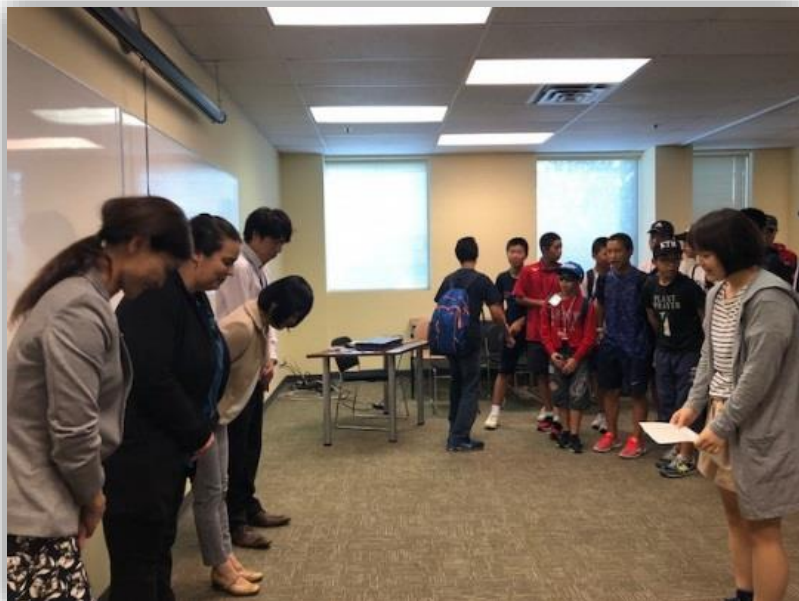


グループごとのプレゼンテーション

座談会



お礼の言葉



中華レストランでの夕食

**【7日目】 平成30年8月22日（水） ※カナダ滞在最終日**

- 10:00 バンクーバー市内観光
  - ・スタンレーパーク見学
  - ・リッチモンドセンターにて昼食・買い物
- 13:15 バンクーバー国際空港にて出国手続き
- 16:15 空路、羽田空港へ  
～～日付変更線～～
- 18:20 羽田空港到着
- 22:30 広野中学校到着



カナダ現地研修最終日は、『スタンレーパーク』を訪れました。スタンレーパークはバンクーバー中心地からすぐそばに位置し原生林が残る自然の中でサイクリングコース等が整備され、市民の憩いの場となっています。また、先住民『ファーストネーション』が遺した9本のトーテムポールも見学することができます。ガイドの方より、トーテムポールが建てられた言い伝えや、先住民と開拓者との悲しい歴史についてお話を聞きました。カナダでは過去の民族間の争いを経て、再び悲しい歴史を繰り返さないよう、民族や人種の多様性を尊重し、全ての人々が平等に社会参加できる社会づくりを早くから進めてきました。現在は200を超える民族が暮らしているそうです。団員達は最後に、カナダという国が現在平和で平等な社会として成り立った歴史について学び、現地カナダでのプログラムを終了し帰国の途に就きました。



スタンレーパークにて



リッチモンドセンターにて



到着式（広野中学校にて）

## ■■■■ 事後研修会 ■■■■ ～カナダ派遣振り返り学習～

【日時】平成30年10月8日（月）

【会場】広野町公民館2階大会議室

【講師】JTB国際交流センター 及川 秀昭 氏

- 10:00 カナダ研修の振り返り
- 11:00 プレゼンテーションとは
- 12:00 昼食
- 13:00 国際フォーラム報告会に向けた資料の作成
- 14:40 プレゼンテーション練習



カナダから帰国後、事後研修会を開催しました。この研修では、『国際フォーラム』での報告会に向け、振り返り学習及びプレゼン資料の作成作業をおこないました。4つのグループに分かれ、現地の活動について印象に残っていることをグループ内でディスカッションし活動を振り返りました。その後、プレゼンテーション資料作成のコツや、発表の仕方について講義を受け、日本とカナダの『食の違い』・『生活の違い』などグループで発表するテーマを決め資料作成に取り掛かりました。違いを見つけやすかった『食べ物』をテーマに選んだグループが多く見られました。生徒達は、カナダ現地研修の中で資料の作成に取り組んだ経験を活かし、グループ内で役割を決め時間内に全てのグループが模造紙にまとめ上げることができました。発表の練習では、発表の立振舞いや、どうやったら聞き手に伝わるのか？講師の先生や聞き手役の生徒からアドバイスをもらいながら発表方法を工夫していました。



振り返り学習



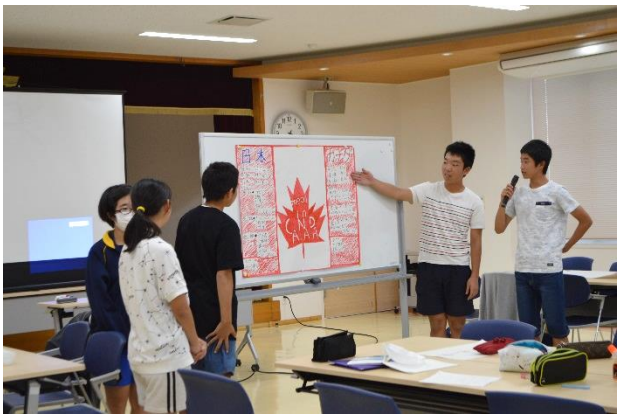
プレゼントとは…（時間配分の練習）

～資料作成の様子～





～発表の練習～



## ■■■ 国際フォーラム 広野町中学生海外研修報告会 ■■■ ～異文化体験を通して～

【日時】平成30年10月14日（日） 11:10～12:40

【会場】広野町公民館2階大会議室

【ファシリテーター】(株) グローカルアース代表取締役 藤本 正樹 氏

11:00 開場  
11:10 開会  
11:25 プログラム説明  
11:30 グループ発表・質疑応答（4グループ）  
12:30 講評  
12:40 閉会

中学生海外教育派遣事業の総まとめとして、10月14日（日）広野町公民館で開催された『国際フォーラム～「被災地」から「復興地」へ～Living in Disaster Affected Areas gives Living Sapience』にて報告会を開催しました。当日は昨年に引き続き、中学・高校教諭としての経験を活かすとともに、世界を学び自らを深めるため100を超える国と地域を訪問してきた藤本正樹先生にファシリテーターを務めていただき報告会がおこなわれました。まずはじめに、事務局より一連の事業及び現地カナダでの研修の流れについて説明し、その後、4つのグループごとに様々な体験から学んだこと・感じたことを発表しました。事後研修で学んだプレゼンテーションのポイントや立振舞いが活かされ、質疑応答では予想外の質問にも団員たちは自分の意見や意志をしっかりと持ち、自分の言葉で一生懸命伝える姿が見られました。



A グループ



B グループ



C グループ

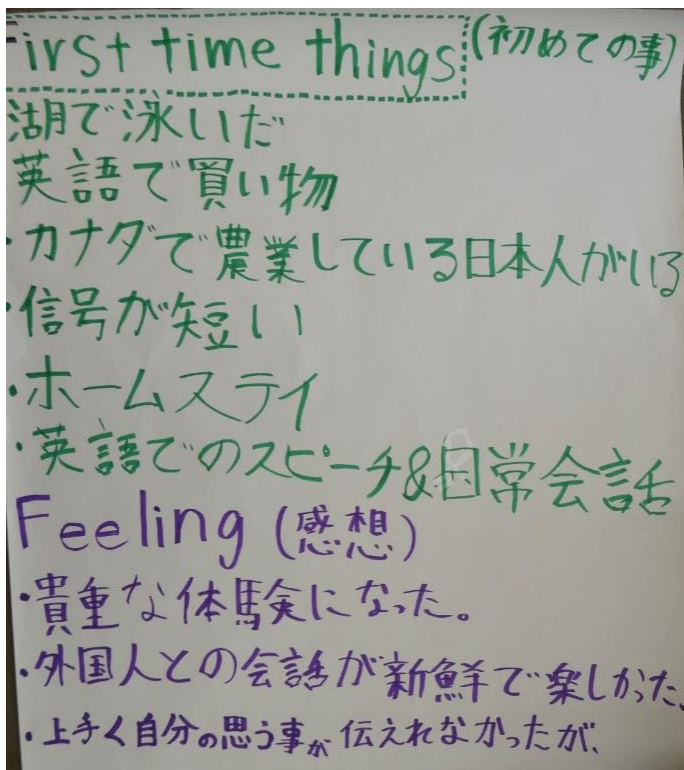


D グループ

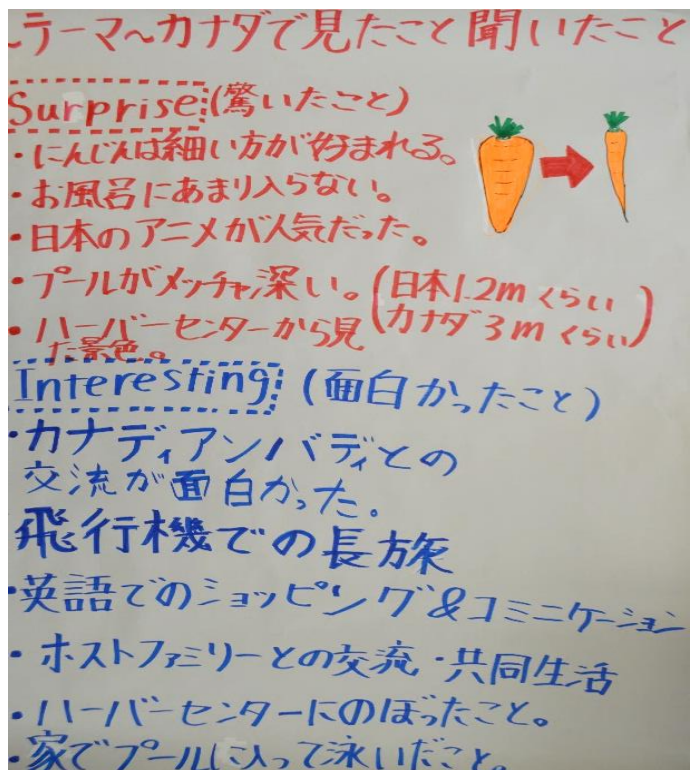




A グループ



B グループ





## カナダ編

**食事**

- ◎朝...パン、フルーツ、フルーツなど
- ◎昼...サンドウィッチ、ミルク、フルーツなど
- ◎夕...ハンバーガー、ピザ、パスタなど

**生活**

- ◎お風呂
  - ・湯船につからない
  - ・時間が短い

## 日本編

**食事**

- ◎朝...米、パン、みそ汁、フルーツ、鮭、漬物
- ◎昼...ラーメン、うどん、そば、肉など
- ◎夕...米、カレー、肉、鍋など

**生活**

- ◎お風呂
  - ・湯船につかる
  - ・時間が長い

### C グループ

## ホームステイでの生活と食

**生活**

- ・トイレトペーパーのつけ方
- ・ベッドメイキングは毎日
- ・宗教の違い (キリスト教)
- ・プールはある家とない家がある

**食**

- ・野菜は生
- ・朝はヘルシーな雑穀パン
- ・牛乳は味がない
- ・油っこい物がおいしい (ホットドック、バーガー等)
- ・果物がおいしい

**困った事**

- その1. お風呂にあまり入れない。
- その2. 食事の量が少ない
- その3. 言葉がうまく伝わらない。

**学んだ事**

- ・自分の意思の伝え方は言葉だけではない!!
- ・はずかしからず堂々と伝えること。

### D グループ

分かったこと

**生活**では、日本と比べて水を大切にしていること、日本と少し似ているところが以外に多かったのが分かりました。日本は生活態度が人さまざまだけど、カナダに行き、日本はカナダより悪いと思いました。

**食**では比較的朝はヘルシー、夜は少しぜいたくな感じがします。果物や野菜は美味しいけど、料理に出ることは少なかったです。

生活がちがうと人がらが変わるのかなと思いました。

やはり食は日本食が一番です。

## ■■■ 今後の海外教育交流派遣に向けた課題 ■■■

カナダの教育は州政府によって管轄されており各州の教育省が教育水準を設定し、それぞれの地域的特色や文化歴史を反映したカリキュラムが組まれています。カナダの中学校・高等学校は通常、9月に始まり6月に終わる2学期制を取っているため当該期間中カナダの学校は休学期間中であることから、現地学校での学生との交流は難しい状況にあります。本事業ではカナディアンバディとの体験学習の時間を多く設け、ファーマーズマーケットでの買い物体験では、バディと協力し生徒達が積極的に活動している姿が見られました。今後も、カナダでしかできない体験・実技を通じて交流を持つプログラムを多く取り入れていきたいと考えます。

一方、現地研修に伴う事前・事後研修については、生徒一人一人が海外に行く目的や目標を明確にし、帰国後は目標をどのくらい達成できたかアウトプットする十分な時間が必要だと感じました。また報告会では、海外研修の成果として、できる限り英語での発表を目指したいと考えます。

ケロウナ訪問は今年で4回目を数え、広野町の生徒達を毎年受け入れてくれる家庭が多く、引き続き各家庭や地域との繋がりを持った交流を継続し、将来的には町と市との連携を視野に入れた海外交流へと発展していくことを願います。





平成 30 年 12 月発行

## 平成 30 年度広野町中学生海外教育交流派遣事業報告書

編集発行 広野町教育委員会学校教育課

〒979-0402 福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替 35

Tel : 0240-27-4166 / Fax : 0240-27-4702

